

JAETP 特定非営利活動法人
日本臨床運動療法学会

News

学術集会特別号 Letter

Japanese Association of Exercise Therapy and Prevention



いよいよ開催直前!

次の一歩をここから!

見逃せない!

第45回
日本臨床運動療法学会
学術集会

Exercise therapy beyond diseases

会期 2026. 9.5 土 • 9.6 日

会場 昭和医科大学 上條記念館
東京都品川区旗の台1-5-8



第45回 JAETP学術集会の見どころ 第2弾



今回のテーマは、「Exercise therapy beyond diseases – Keep Physical Activity, for Health and Life（疾患を超えた運動療法 — 健康な人生のために続けよう）」です。

前号（No.23）では関連学会・研究会・団体との7つのジョイントセッションを紹介しました。

本号では理事長講演、会長講演、シンポジウム、パネルディスカッションに注目し紹介します。

多彩なテーマで最新の研究成果や現場における課題を共有し、運動療法の未来をともに考える、貴重な2日間となります。ぜひご参加ください。

（この情報は総務委員会ニュースレター編集部が作成しています）

開催前にチェック!



事前参加登録受付中

9月3日(木) まで
早めのご登録をおすすめします

参加登録は[こちら](#)



公式プログラム

教育セッション・実技講習会など
多数の企画を一覧で

詳細は[こちら](#)



単位取得可能な資格

各種資格の単位取得・申請が可能です

対象のプログラム・
申請方法は[こちら](#)



理事長講演

9月5日(土) 13:40~14:10 第I会場 赤松B(4F)

座長：有田 幹雄（角谷リハビリテーション病院 循環器内科）



「運動療法・身体活動における未解決の課題と日本臨床運動療学会の進路」

演者：後藤 葉一（北大阪ほうせんか病院）

会長講演

9月5日(土) 14:15~14:45 第I会場 赤松B(4F)

座長：後藤 葉一（北大阪ほうせんか病院）



「Exercise therapy beyond diseases - keep Physical Activity for Health and Life -」

演者：木庭 新治（昭和医科大学医学部 内科学講座 循環器内科学部門）

SYMPOSIUM | シンポジウム

特別企画

9月5日(土) 16:10~17:40 第I会場 赤松B(4F)

「医療と運動の融合、そして社会実装へ ～学会連携で高める運動・身体活動のプレゼンス～」

座長：後藤 葉一（北大阪ほうせんか病院）
永富 良一（東北大学 産学連携機構 イノベーション戦略推進センター）日本社会に運動療法・身体活動を
広範に普及させるための学会連携日本臨床運動療学会
後藤 葉一
北大阪ほうせんか病院「活動」を軸としたリハビリテーシ
ョン医学・医療による生活期への
接続と社会保障制度の拡張への貢献日本リハビリテーション医学会
上條 義一郎
獨協医科大学埼玉医療センター リハビリテーション科

運動・身体活動のエビデンスと医療

日本体力医学会
永富 良一
東北大学 産学連携機構イノベーション戦略
推進センター特任教授予防・医療・地域をつなぐグランド
デザイン～個人の行動変容から社会
システムの変革へ～日本運動疫学会
小熊 祐子
慶應義塾大学 スポーツ医学研究センター・
大学院健康マネジメント研究科ハイパフォーマンスからライフパフ
ォーマンスへ～日本臨床スポーツ医
学会の視点から～日本臨床スポーツ医学会
津下 一代
日本臨床スポーツ医学会理事・日本栄養大学

シンポ1

9月5日(土) 9:00~10:00 第I会場 赤松B(4F)

「がん治療における運動・身体活動のエビデンス」

座長：牧田 茂（川口きゅうぼらリハビリテーション病院 リハビリテーション科）
 鶴川 俊洋（鹿児島市立病院 リハビリテーション科）

CTで分かるあなたの免疫能
 —免疫チェックポイント阻害薬の
 臨床効果と腸腰筋インデックスの
 研究から—



角田 卓也

昭和医科大学医学部 腫瘍内科 特任教授／
 昭和医科大学 統括がん情報センター センター長

がん治療における運動の意義



街 勝憲

国立がん研究センター がん対策研究所

がんのリハビリテーション診療最前線
 ～運動療法を中心に



辻 哲也

慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室

シンポ2

9月5日(土) 11:20~12:30 第II会場 赤松A(4F)

「Life-Course Sports Medicine: Beyond Limits」

座長：中嶋 耕平（国立スポーツ科学センター 整形外科）
 牧田 茂（川口きゅうぼらリハビリテーション病院 リハビリテーション科）

ライフステージから考える
 女性の健康と運動



能瀬 さやか

ハイパフォーマンススポーツセンター 国立スポーツ
 科学センター スポーツ医学研究部門 産婦人科

障害のある子どものスポーツ支援：
 参加をひろく環境づくりと
 医療の役割



藤原 清香

東京大学附属病院 リハビリテーション科

地域ジュニアアスリートにおける
 心身の健康課題とライフコースを
 見据えた医科学的サポート



友利 杏奈

国立スポーツ科学センター スポーツ医学研究部門

先天性心疾患患者の身体活動支援
 に向けた心肺運動負荷試験の活用



鶴川 俊洋

鹿児島市立病院 リハビリテーション部

シンポ3

9月5日(土) 14:50~16:00 第I会場 赤松B(4F)

「運動療法を継続戦略」

座長：上月 正博（公立大学法人山形県立保健医療大学 保健医療学部）
木村 穰（関西医科大学 健康科学センター）

国の身体活動推進政策と自治体での取り組み



小熊 祐子

慶應義塾大学 スポーツ医学研究センター・
大学院健康マネジメント研究科

学校保健における運動教育
～日本医師会・文部科学省等の
活動・施策

渡辺 弘司

日本医師会常任理事

医療から地域へ繋ぐライフスタイル
チェンジの提案
～運動療法を「継続」させるための
多職種連携と今後の展望～

横山 美帆

順天堂大学大学院医学研究科 循環器内科／
順天堂大学医学部附属順天堂医院健康スポーツ室

地域在住・通所利用高齢者に
おける座位行動への介入戦略

北村 匡大

令和健康科学大学 リハビリテーション学部
理学療法学科

職域でのアクティブガイドの活用



中田 由夫

筑波大学 体育系

シンポ4

9月6日(日) 10:20~11:30 第II会場 赤松A(4F)

「メディカルフィットネスは社会に根づくのか？
—医療・介護をつなぐ運動療法の現実と課題—」

座長：二階堂 暁（八王子みなみ野心臓リハビリテーションクリニック 循環器内科）
田嶋 明彦（新潟薬科大学 医療技術学部）

地域クリニックにおけるメディカル
フィットネスの役割と運用方法

行光 望

東十条ホープ内科・循環器内科クリニック

メディカルフィットネス SORA
が担う医療／介護／地域を繋ぐ
役割 —行政と連携した保健事業
3年間の取り組み—

中村 洋貴

社会医療法人 高清会 高井病院／
メディカルフィットネス SORA

医療機関・疾病予防運動施設・公共
施設を繋ぐメディカルフィットネス
の実際と連携の工夫

村上 光世

フリーランス

PANEL DISCUSSION | パネルディスカッション

パネル 1

9月5日(土) 10:25~11:15 第II会場 赤松A(4F)

「運動療法とwell-being～何をどう評価するか？」

座長：太田 玉紀（猫山宮尾病院 内科）
佐藤 真治（帝京大学 医療技術学部）

ウェルビーイング評価の現在地

都竹 茂樹

大阪大学 健康スポーツ科学教育研究環

対話型 AI との会話ログを用いた
ウェルビーイング評価の試み

石塚 亮平

帝京大学大学院 公衆衛生学研究科

社会的処方を支えるAIによるウェル
ビーイング評価の可能性

鈴木 春菜

ViZO株式会社 経営企画室長



パネル 2

9月5日(土) 11:20~12:30 第I会場 赤松B(4F)

「運動と栄養」

座長：沖田 孝一（北翔大学）
町田 あゆみ（昭和医科大学病院 栄養科）

運動を楽にするポリフェノール

沖田 孝一

北翔大学

効率的な機能とパフォーマンス改善
に向けた運動療法と栄養療法のマッ
チング

池田 崇

名古屋市立大学 医学部 保健医療学科
リハビリテーション学専攻クレアチン：生体における機能と
その応用

黒澤 裕子

東京医科大学 健康増進スポーツ医学分野

栄養の立場から見た運動療法の継続
支援

中村 晃洋

広島国際大学 健康科学部 医療栄養学科



パネル 3

9月6日(日) 13:00~13:50 第I会場 赤松B(4F)

「リアルワールドでの運動療法」

座長：佐藤 真治（帝京大学 医療技術学部）

リアルワールドでの有酸素運動

檜垣 靖樹

福岡大学 スポーツ科学部

リアルワールドでのレジスタンス
トレーニング（筋トレ）

都竹 茂樹

大阪大学 健康スポーツ科学教育研究環

